

TOTO

吐水口ユニット（交換手順）

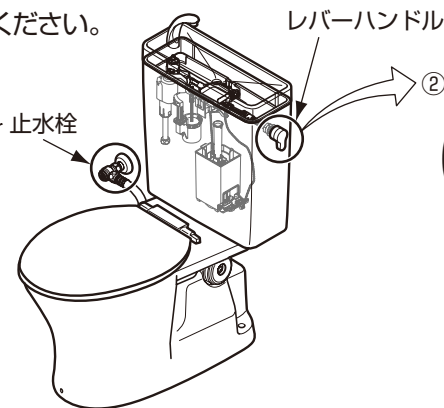
商品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。
取り付け後は、お客様にご使用方法を十分にご説明ください。

交換前作業

※交換前に下記 ①～③の作業を実施してください。

① タンク内の水を流す

① 止水栓を閉めてください。
(マイナスドライバーで)
右に回す。



② タンク内の水を流してください。
(大の方向)
(手でハンドルを数秒間保持して)
完全に水を抜いてください。)

※機種によってロータンクの
形状が異なります。

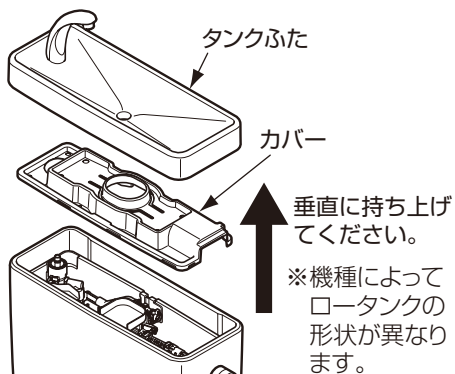
② タンクふたとカバーを外す

カバーを持ち上げてそのまま外します。

⚠注意



タンクふたは落とさない
ように注意する
破損してけがをするおそれ
があります。



※機種によって
ロータンクの
形状が異なります。

〈タンクふた固定仕様の場合〉

タンクふたを取りはずす前に六角穴付きボルトを
ゆるめ、上ふた固定板のロックをはずす必要があります。

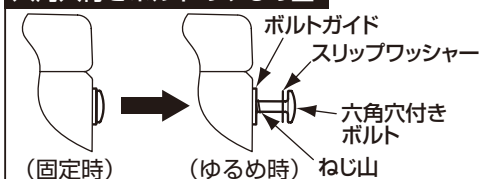
① 六角穴付きボルトを左に
回し、ゆるめる
六角棒スパナ



使用工具

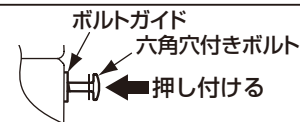


六角穴付きボルトのゆるめ量

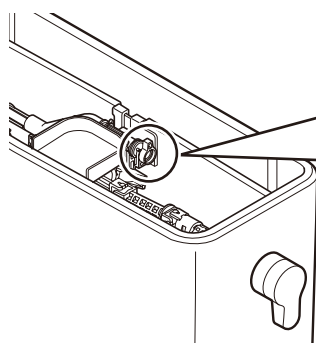


〈ゆるめ量目安〉
六角穴付きボルトの
ねじ山がボルトガイド
から見えるくらいを
目安とする

② 六角穴付きボルトをボルトガイドに
押し付け、タンクふたを垂直に持ち
上げ、はずす

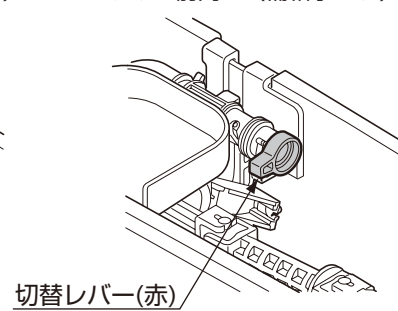
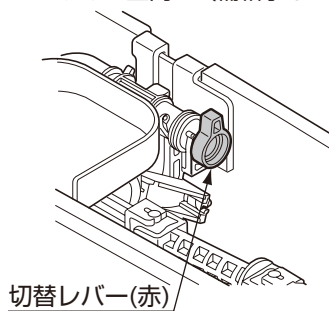


③ 切替レバー(赤)の向きを確認する



つまみが上向き (補給水なし)

つまみが前向き (補給水あり)

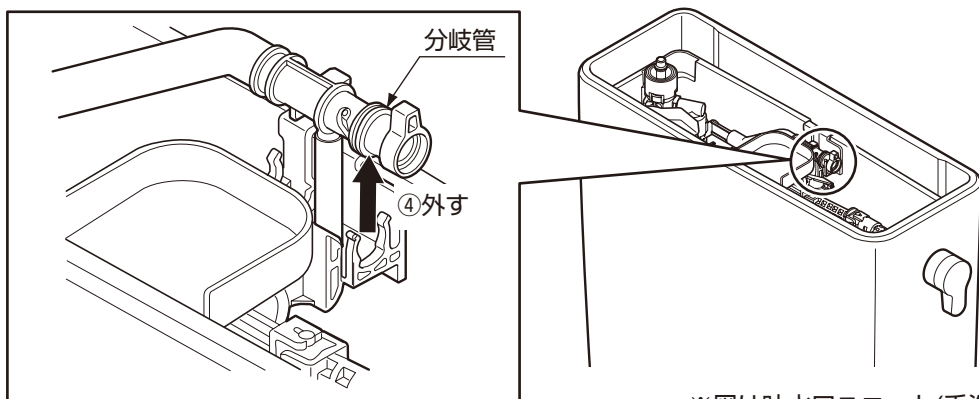
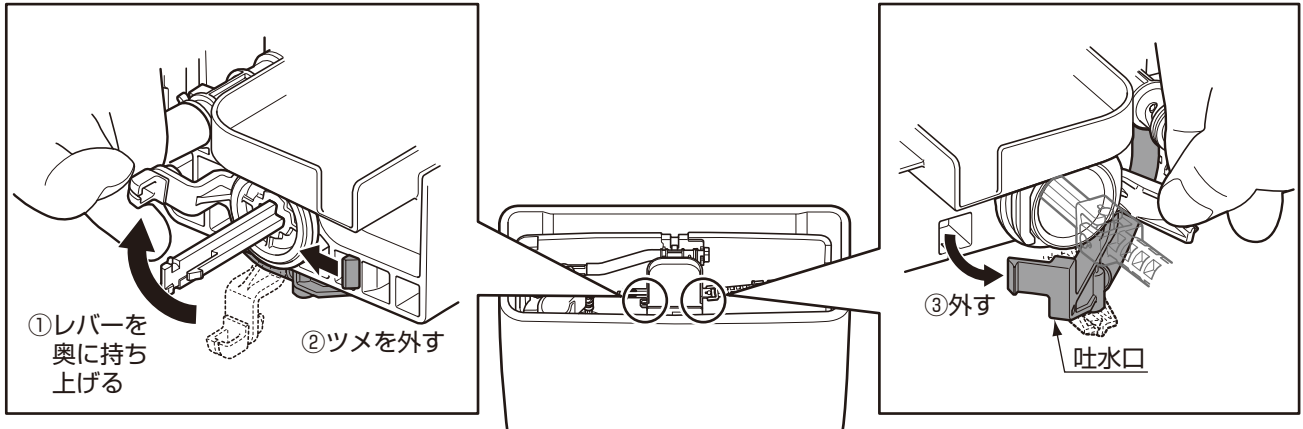


※部品の交換後に、切替レバー(赤)の向きを交換前の状態にあわせる必要があります。

交換手順

④ 吐水口を外し、分岐管を取り外す

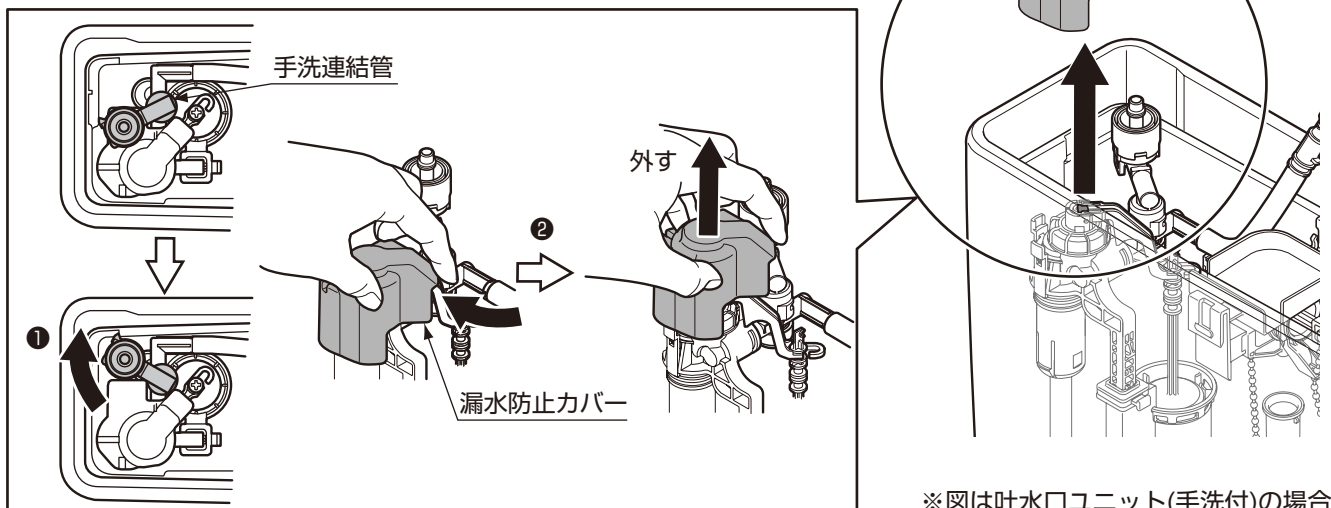
- ①レバーを奥に持ち上げる。
- ②ツメを外す。
- ③吐水口を取り外す。
- ④分岐管を外す。



※図は吐水口ユニット(手洗付)の場合

⑤ 漏水防止カバーを取り外す

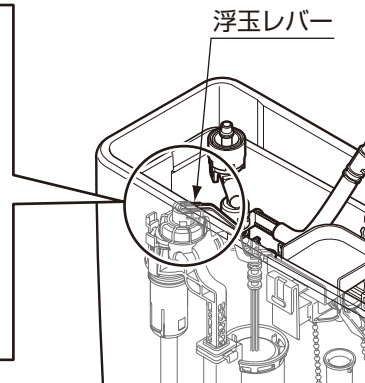
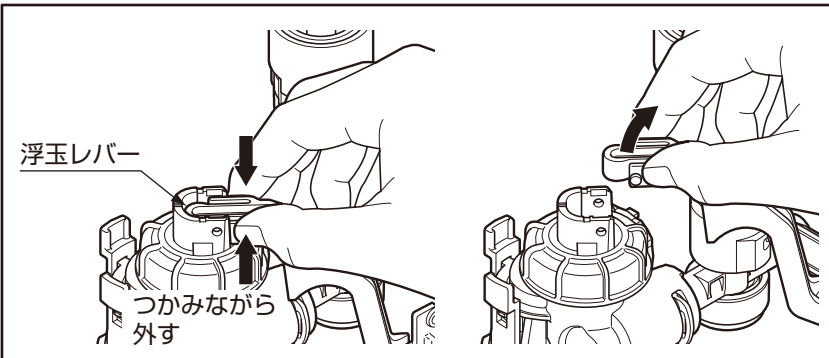
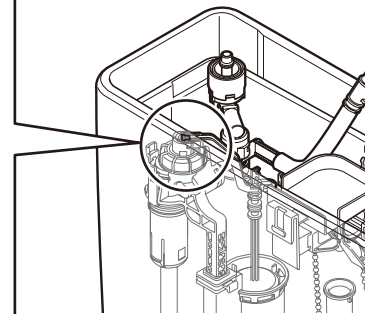
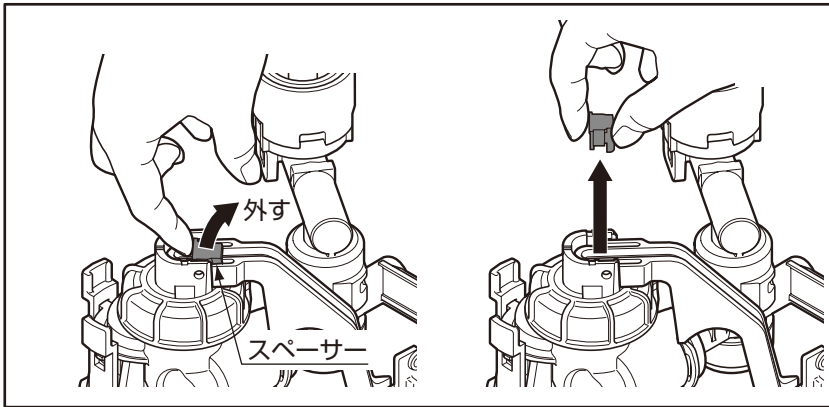
- ①手洗連結管を移動する。
- ②漏水防止カバーに人差し指を引っ掛けてから持ち上げる。



※図は吐水口ユニット(手洗付)の場合

⑥ 浮玉レバーを取り外す

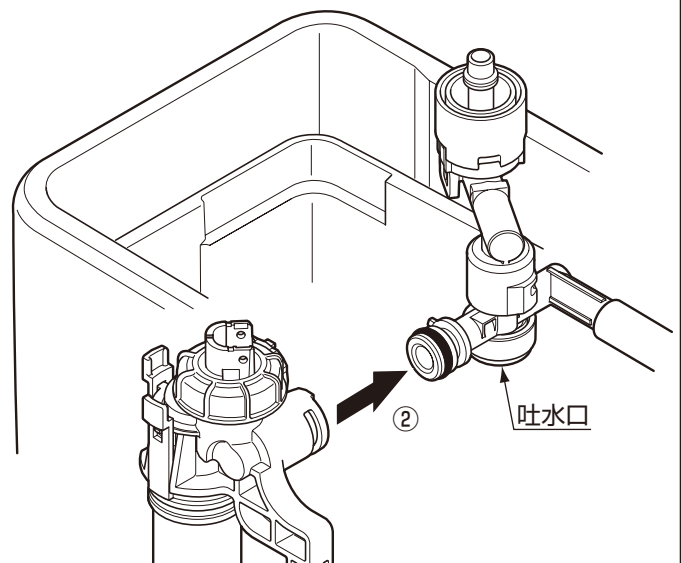
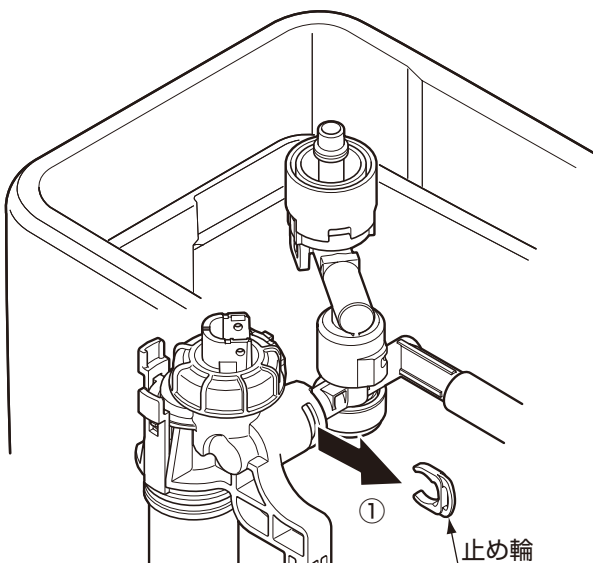
・スペーサーを外して、浮玉レバーをつまんで取り外す。



※図は吐水口ユニット(手洗付)の場合

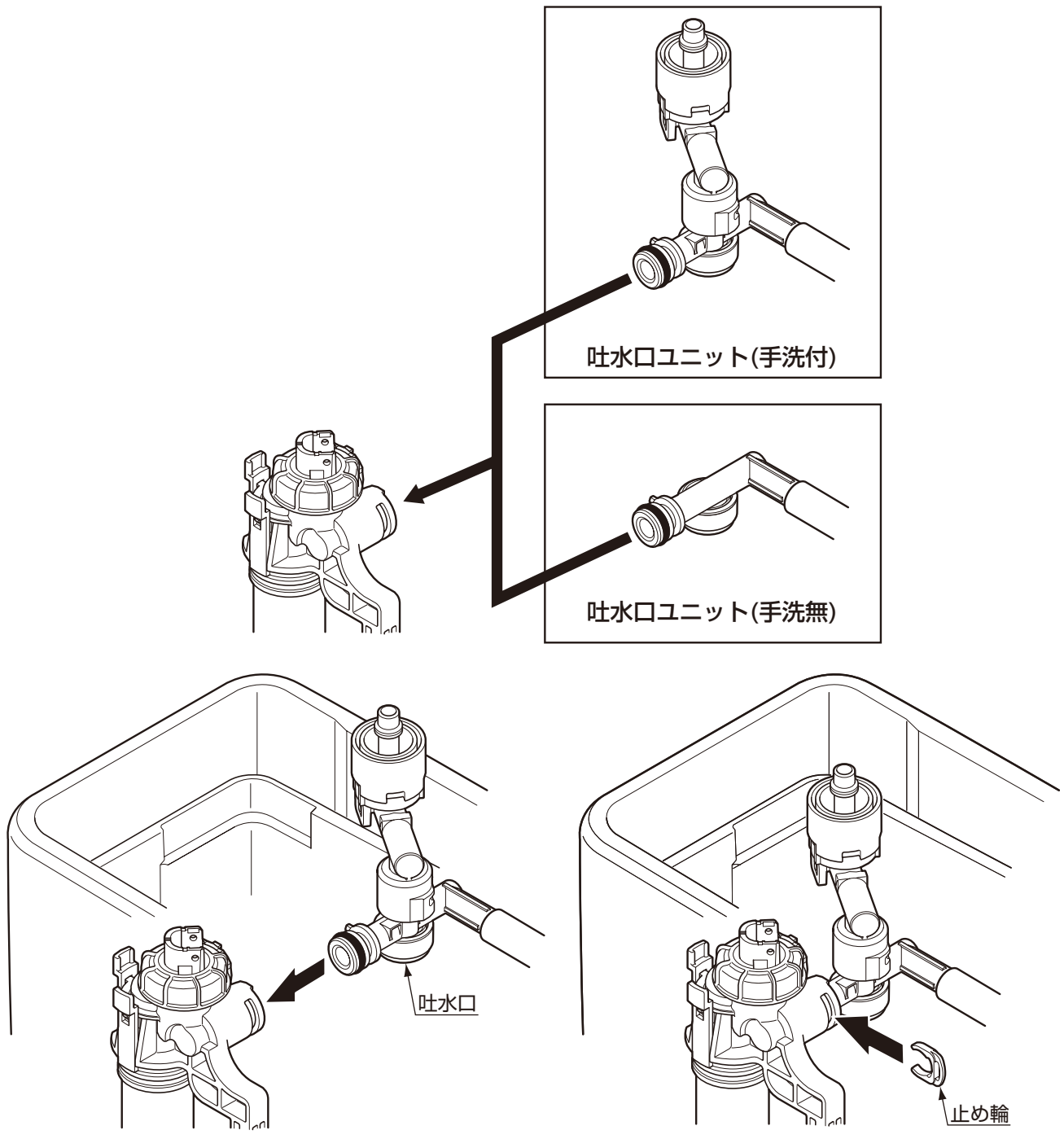
⑦ ボールタップ本体と接続している吐水口を取り外す

- ① 止め輪を引き抜く。
※止め輪を落とさないように注意してください。
- ② 吐水口を取り外す。



※図は吐水口ユニット(手洗付)の場合

8 新しい吐水口ユニットを取り付ける

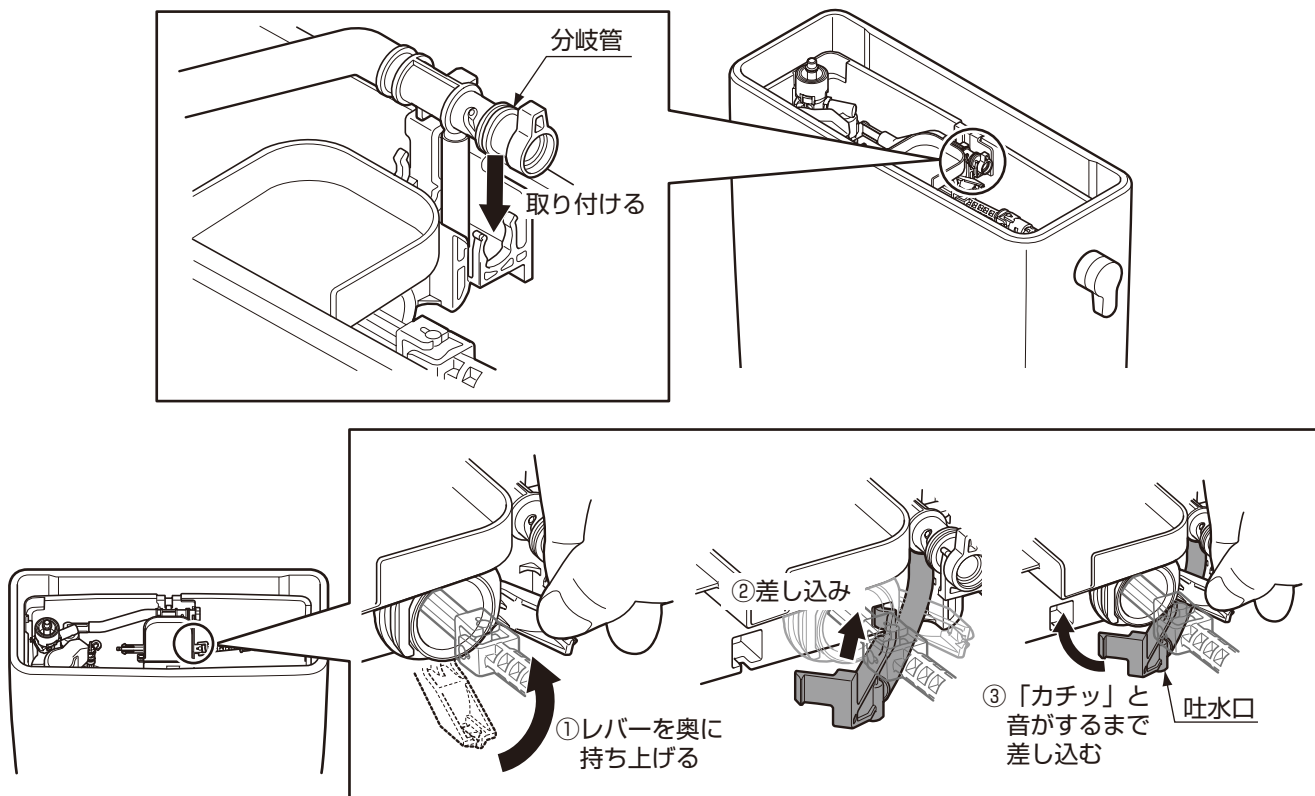


9 浮玉レバーと漏水防止カバーを取り付ける

- ・ 5 6 と逆の手順で取り付ける。

10 分岐管を取り付け、吐水口を取り付ける

・4の①～④と逆の手順で取り付ける。

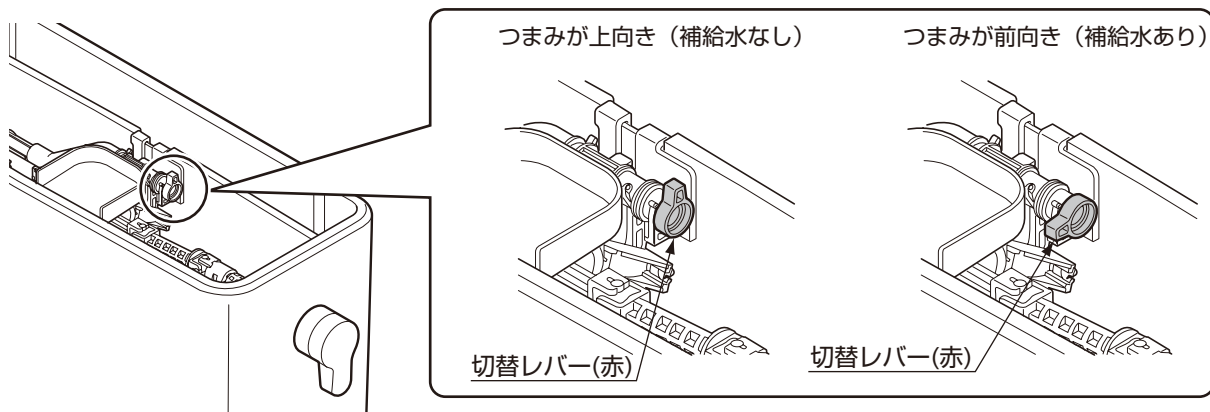


※図は吐水口ユニット(手洗付)の場合

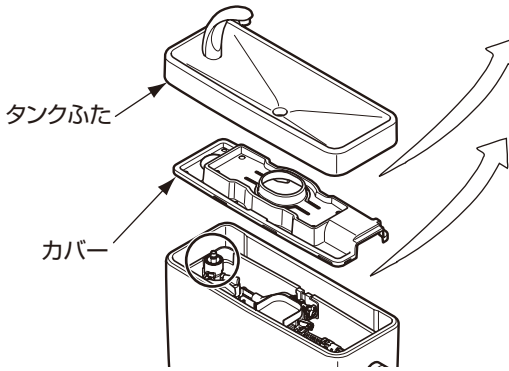
交換後作業

※交換後に下記 11～13の作業を実施してください。

11 切替レバー(赤)の向きを確認し、交換前の状態にあわせる

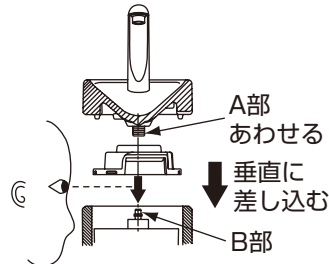


12 カバーとタンクふたを元に戻す



※機種によってロータンクの形状が異なります。

- ①カバーを樹脂タンクにあわせて取り付け。
- ②タンクふたを取り付ける。



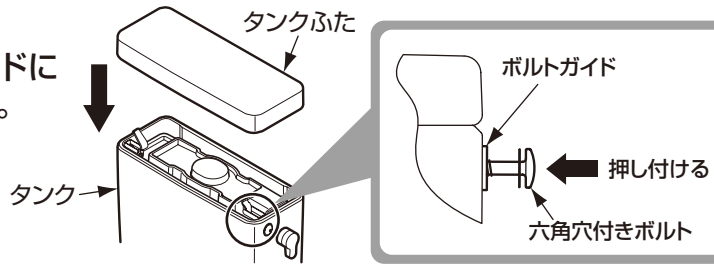
⚠注意

必ず実行 カバーやタンクふたなどは、確実に差し込む水漏れの原因になります。

※タンクふたが浮いていたり、ぐらつく場合は、差し込みが不十分ですので、再度差し込み直してください。

〈タンクふた固定仕様の場合〉

- ①六角穴付きボルトをボルトガイドに押しつけ、タンクふたを載せる。



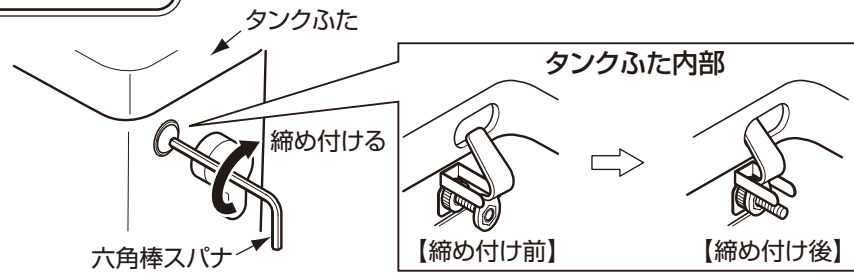
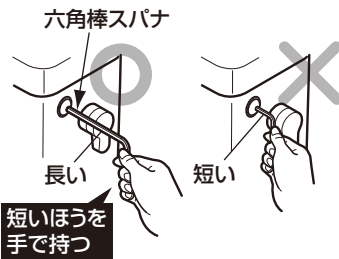
- ②六角穴付きボルトを締め付け、タンクふたに固定する。

⚠注意

必ず実行 ねじの締め込み過ぎに注意する
締め込み過ぎると、ロータンクやボルトが破損し、けがをするおそれがあります。

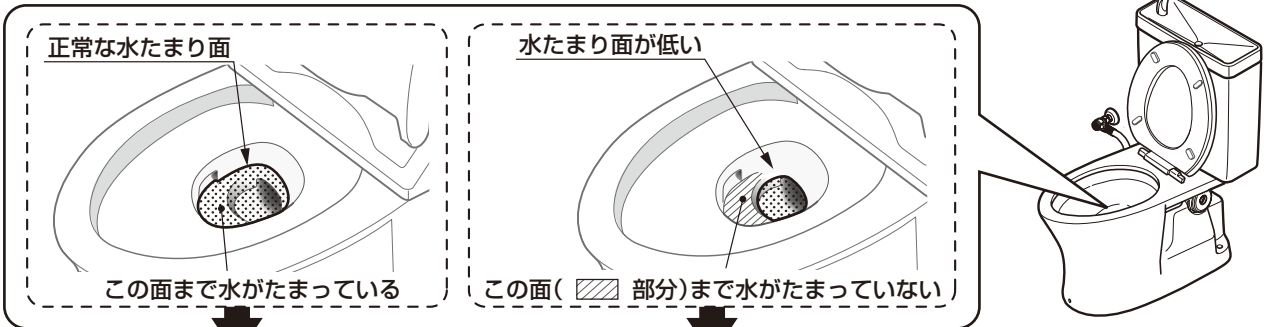
注意

ボルトの締め付けは、両側均一になるように締め付けてください。片側だけを締め付けるとタンクふたがズれるおそれがあります。



13 取り付け完了後の確認をする

- ・止水栓を開け、2～3度洗浄させて、便器・タンク内外への水漏れや洗浄状態などの異常がないことを確認する。
- ・水の出方が悪いときは、取扱説明書（お客様保管）の“給水フィルターの掃除”を参照して掃除を行う。
- ・凍結のおそれがある場合は、取扱説明書（お客様保管）の凍結予防方法に従って凍結予防を行う。
- ・大洗浄をしたあと、水たまり面の水位を確認する。



〈正常な水位の場合〉
設定変更は不要です。
(設定を行うと、洗浄不良になる場合があります)

〈水位が低下した場合〉
設定変更を行ってください。
(洗浄水量を変えずに水たまり面を正常な状態にすることができます)

14 水たまり面が低下する場合の対応方法を参照のうえ、必ず設定変更を行ってください。

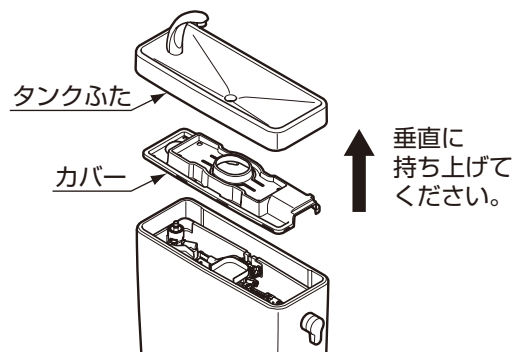
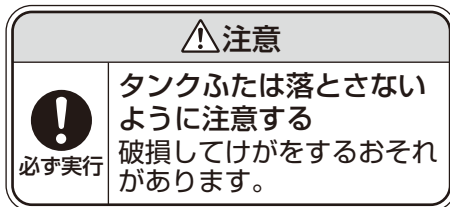
14 水たまり面が低下する場合の対応方法

便器洗浄をして水たまり面が低下する場合は、下記のとおり設定変更にて対応してください。
排水管の影響で水たまり面が低下する場合でも、水量を変えずに対応できるよう配慮されています。
それにより、水たまり面が確実に戻るようになります。

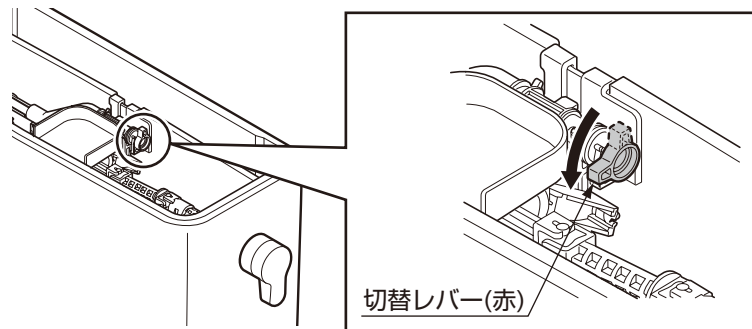
① 止水栓を閉めて給水を止める。



② タンクふたとカバーを外す。

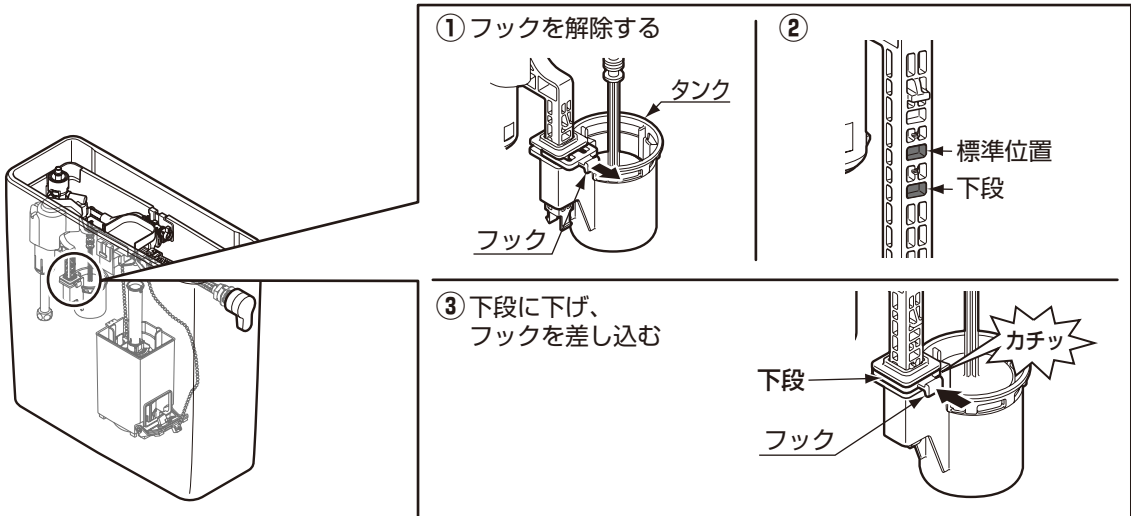


③ 切替レバー(赤)を手前に90°回転させ、そのまましておく。

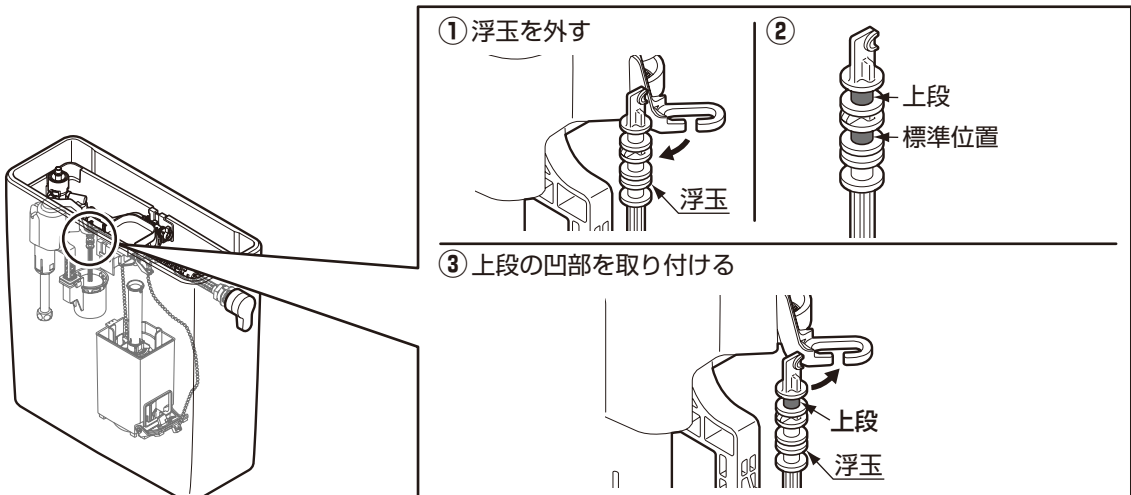


14 水たまり面が低下する場合の対応方法 (つづき)

④フックを解除し、ボールタップのタンク取付位置を下段に変更する。



⑤ボールタップの浮玉取付位置を、上段の凹部に変更する。

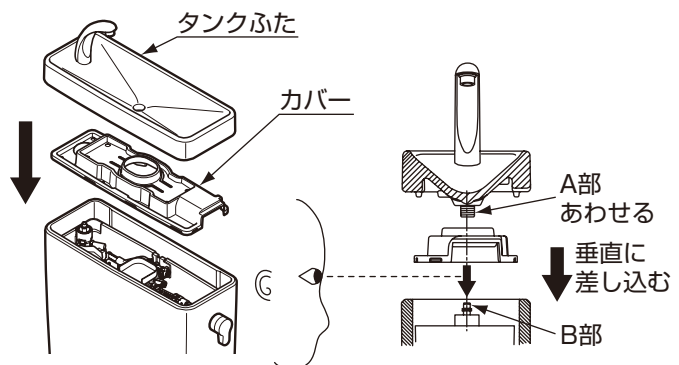


⑥カバーとタンクふたを元に戻す。

⚠ 注意

手洗い付きの場合、A部をB部に必ず差し込む
 確実に差し込まれていないと水漏れして家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。

必ず実行



⑦取り付け完了後の確認をする。

- ・ 止水栓を開け、2~3度洗浄させて、便器・タンク内外への水漏れなどの異常がないことを確認する。
- ・ 正常に洗浄するか確認する。
- ・ **洗浄終了時、水たまり面が低下していないことを確認する。**